



横須賀・三浦放射線技師会報

Vol.36 - 3 MAR.2013

114



<発行元>横須賀・三浦放射線技師会 広報

<発行元住所>神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

Photo by T.Kubo

CONTENTS

「平成24年度 総会特集号」

巻頭言	2	会員投稿	6
平成24年度総会開催のご案内	3	スクリーニング講習会参加記	7
平成24年度総会式次第	4	福利厚生報告	7
庶務報告	5	編集長のコーナー	8
第111回研究会報告	5		

巻頭言



横須賀・三浦放射線技師会 副会長 須藤 敏

力を合わせて

1月に入りインフルエンザが急速に流行した。当院も例外ではなく2月1日に開催された院内感染対策会議でインフルエンザ発生総数5名と報告された。会議では患者への予防投与、職員のマスク着用、職員の発熱状態把握のため発熱サーベランスを実施することが決定された。翌土曜日、日曜日の間に発生数は増加して11名となった。

2月5日 朝8:30分より院内感染対策会議が緊急開催された。そこでの報告は職員を含めてインフルエンザ総数は29名に増えていた。会議の席上、一部の職員がマスクを装着していない、面会者が院内にインフルエンザを持ち込んでいる、職員にタミフルの予防投与を行うべき等意見が出された。議論の末インフルエンザ拡大防止のため以下のことが決定された、職員のマスク着用を業務命令にすること。院内感染対策委員で職員・MRのマスク装着状態のラウンドを行うこと。感染者がいる病棟を面会謝絶すること。インフルエンザを発症した患者の同室者にタミフルの予防投与を行うこと。1日7回のインフルエンザ感染防止の放送である。当科も入院患者の撮影は午後を実施して、外来患者との接触を避ける処置をおこなった。それでも発生増加は止まらなく、翌日一部病棟を閉鎖した。毎朝、毎夕、院内感染対策会議が招集され、委員を先頭に職員全員で感染防止に取り組んだ。

1週間が経ち、マスクを着用していない職員は皆無となり、面会患者もほとんどがマスクを着けるまで浸透した。職員が力を合わせて感染防止に取り組んだおかげでインフルエンザ発症はゼロとなった。翌日、病棟閉鎖も、職員マスク着用命令も解除された。

横須賀三浦放射線技師会は半世紀以上の歴史があり、現在では会員数は150名を超えています。羽布津会長を先頭に30名の理事全員で力を合わせて技師会を運営してゆきます。

引き続きよろしくお願ひいたします。

会員・賛助会員 各位

平成24年度総会開催のご案内

横須賀三浦放射線技師会事務局

平成24年度本会総会を下記の通り開催致します。
何卒ご出席いただきますようご案内申し上げます。
尚、本総会終了後 懇親会を行います。
こちらでも多数のご参加をお願い申し上げます。

記

日時 平成25年3月16日(土) 15:00～

会場 横須賀共済病院 5階講堂

懇親会 17:00～

会場 セントラルホテル 5F ルビー

懇親会会費 5000円

準備の都合上、3月1日(金)までに本会事務局まで出欠をお知らせください。
懇親会出席申し込みされた方は、当日欠席されても懇親会会費は徴収させていただきますので、悪しからずご了承ください。
当日、来年度分の会費納入も受付致します。

横須賀三浦放射線技師会事務局

〒238-8558 横須賀市米が浜通1-16 横須賀共済病院 中央放射線科内

046-822-2710

Mail ymart001@ymart.jp

濱田順爾、菅原保富、村雲俊広、大澤進牙



平成24年度総会式次第

3月16日(土) 15:00～ 於：横須賀共済病院5階講堂

- 一、開会の言葉
- 一、会長挨拶
- 一、会員表彰
- 一、来賓祝辞
- 一、議長団選出
- 一、議 事

平成24年度事業報告

庶務報告

学術報告

福利厚生報告

広報報告

Y M B I T 報告

救急医療報告

緊急被ばく医療報告

組織委員報告

平成24年度会計決算報告

平成24年度一般会計決算報告

平成24年度救急医療会計決算報告

平成24年度会計監査報告

平成25年度事業計画案

平成25年度会計予算案

平成25年度一般会計予算案

平成25年度救急医療会計予算案

その他

- 一、議長団解任
- 一、閉会の言葉

各部報告

庶務報告 (2012/11/09 ~ 2013/03/16)

- 11/09 住重試験検査株式会社が賛助会員として入会
 - 11/10 横須賀市医師会災害救護訓練に児玉理事、日景理事、濱田理事、菅原理事、沼田氏が参加。
第111回研究会(横共)開催"
 - 11/29 第3回救急センター連絡会議を開催(横共)
 - 12/01 ボーリング大会(すぼると)&忘年会(つきじ植むら旬泉坊モアーズ6F)開催
 - 12/08 横浜南部地区技師会忘年会に二田監査役、千葉相談役が出席
 - 01/12 第8回スクリーニング講習会(横共)開催
横須賀市医師会賀詞交歓会へ羽布津会長が出席"
 - 01/16 KART 新春情報交換会に羽布津会長、濱田理事が出席
 - 01/17 第4回三役会開催(衣笠)
 - 01/26 第4回理事会&賀詞交歓会開催(衣笠)
 - 01/28 株式会社ドクターネットが賛助会員として入会
 - 02/23 KART ボーリング大会開催予定(新倉相談役、服部相談役、柳澤相談役が参加)
 - 02/25 岡野隆二氏(市民)退会
 - 02/27 平成24年度会計監査
 - 03/02 南部合同勉強会開催(日立横浜病院)
 - 03/16 平成24年度総会(横共)&総会后懇親会(セントラルH)開催予定
- 会員数 148名 賛助会員 20社

第111回横須賀三浦放射線技師会研究会報告

横須賀市立市民病院 加々美 充

H24.11.10(土)に横須賀共済病院5階講堂にて第111回研究会を開催しました。

参加人数は合計28名でした。

1 演題目は「X線血管撮影装置の究極の線量低減」

最新装置の概要・線量低減の方法についてでした。

2 演題目は「当院における心臓カテーテル検査の被ばく線量の現状」

施設における線量管理の方法・4台あるアンギオ装置の線量の比較に関する内容でした。

3 演題目は「福島第一原発からの放射能汚染について」福島県双葉郡広野町及び千葉県山武市の状況
除染の方法や線量分布や現状等たくさんの貴重なデータを見せていただく事ができました。

プログラム

日時 2012年11月10日(土) 15:00~17:00

会場 横須賀共済病院 5F 講堂

演題 第1部

1. 「X線血管撮影装置の究極の線量低減」

東芝メディカルシステムズ株式会社 富田 泰行 氏

2. 「当院における心臓カテーテル検査の被ばく線量の現状」

~ 検査種・装置による被ばく線量の違い ~

横須賀共済病院 中央放射線科 野口 奈津希 氏

第2部

3. 「福島第一原発からの放射能汚染について」

福島県双葉郡広野町及び千葉県山武市の状況

富士RIファーマ株式会社 岡崎 富美夫 氏



会員投稿

さらばゼンリツセン

横須賀共済病院 濱田 順爾

昨年、前立腺癌が見つかり、7月に前立腺全摘手術を受けました。ほとんどクリニカルパス通りの経過を経て、8月から職場復帰を果たし、現在ではほとんど完全復帰しております。

昨年5月、年に1回、健診のつもりで恒例としている上部消化管内視鏡検査を受けました（胃カメラは問題なしでした）。この時、心配症の家内の希望で血液検査にPSAを加えてみたところ、若干の異常値があり、前立腺生検を実施することになりました。その結果、悪性度は低かったものの、8検体全部に癌が見つかってしまいました。グリソンスコアという指標で $3 + 3 = 6$ 、高分化型で進行度は低いようでした。早期発見に該当するものと思いますが、52歳になったばかり、公私ともにこれから頑張るぞ、という時の癌告知はさすがにキツイものがありました。何故か、かなり冷静に受け止めていたのを覚えております。

この職業に就いていて幸いしたのが、ステージング目的で造影CT、骨シンチ、造影MRIが組まれているのですが、自分の職場で一気に済ます事が出来ました。結果、どうやら転移は無いようでひと安心。とりあえず切り取れるものは、さっさと切り取ってしまって、出来るだけ早く社会復帰したいと思いました。「なんで自分が、、、」というマイナスの意識は全く無く、早く見つかった良かった、カミさんの言う事を聞いて検査しておいて良かった、これで少し寿命が延びた、助かった、カミさんに感謝、自分を生かしてくれた全てに感謝、といった心境だったのを覚えております。幸い当院の当該手術件数が県下でも有数だったこともあり、根治治療目的に全摘手術を選択することが安心して出来ました。

禁煙。入院。剃毛（ひげのみ）、かわいらしい看護師さんと一緒に徒歩でオペ室に入室。全麻。術後ポX P（記憶なし。当科の美女史に撮って貰ったらしい）。帰宅。術後翌日のポX P（技師長に撮って貰った）。痛み止めの座薬。などなど数々の記憶の断片。。。術後暫くは、下腹部の術創周囲の痛みで苦しみましたが、総じて経過は良く、半月ほどで職場復帰を果たすことが出来ました。（職場スタッフのお蔭です）

前立腺全摘により尿漏れの合併症が少々残っており、幸いダダ漏れ状態ではなく、骨盤底筋体操を日々行う事での括約筋強化のお蔭で徐々に漏れも無くなってきており、男性用尿漏れパットとの付き合いもそろそろ終わりそうです。神経を残すことを前提にオペをしても再燃につながるということで、術前には諦めていた男性機能ですが、なんとか、かろうじて、残ってはいるようです。ただ、精嚢も一緒に摘出したので、もう子作りは出来なくなりました。我が家には子供が出来ませんでしたので、可能性が無くなったと考えると残念ではありますが、これ以上の贅沢を望んではいけないと思っております。あと、下ネタもいくつか持っていますので、飲んだ時にでも聞いてください。ご興味があればいろいろ話しますぜ。（笑）

半年ごとにPSA精密測定で再燃が疑われ無ければOKということで、現在は抗がん剤治療もホルモン療法も何も行っておりません。私としてもまだまだ人様のお役に立ちたいので、PSAなんか気力で下げていきたいと思っております。最後に、男性のみなさん、50過ぎたら健診時にPSA測っておいた方が良いでしょう。

第8回スクリーニング講習会に参加して

横須賀共済病院 佐々木 暢



平成 25 年 1 月 10 日、横須賀共済病院にてスクリーニング講習会が開催されました。今回はスクリーニングの説明、スクリーニング体験だけでなく、いくつかのグループに分かれ提示された問題についてディベートするという新しい試みが行われ、私自身とても緊張していました。しかし実際に始めてみると、先輩方の問題に対する考え方や自分が今まで知らなかった知識などを学ぶことができ、とても勉強になりました。また、自分の考



え方に対する技師の先輩方の意見を聞くことができたことは、私にとってとても貴重な体験でした。ディベートの他にも、スライドでの説明や、実際にスクリーニングを体験することで、スクリーニングがいかに大変な作業であるかということがわかりました。普段の業務ではスクリーニングについて学ぶ機会はほとんどないため、今回の講習会はとても貴重な体験でした。今後、このような講習会に積極的に参加して自分の知識を広げていきたいです。

福利厚生報告

横須賀市立うわまち病院 齋藤 千紗

平成 24 年 12 月 1 日（土）ボーリング大会、忘年会を開催いたしました。ボーリング大会は 31 名（会員 22 名、賛助会員 9 名）、忘年会は 52 名（会員 39 名、賛助会員 13 名）と今回もたくさんの方に参加していただきました。

ボーリング大会は、例年通りブラウズウィックスポーツ横須賀で開催しました。私自身、今回が初めての参加でしたが、職種など関係なく盛り上がり、ボーリングを通してたくさんの方と交流することが出来たと思います。納涼会などのお酒の席も楽しいですが、こういったお酒の入らないレクリエーションも楽しく有意義な時間を過ごすことが出来るのだと実感しました。





忘年会はモアーズ8階のつきじ植むら 旬泉坊で行いました。寒い冬にはありがたいしゃぶしゃぶ食べ放題、飲み放題を堪能しました。今回もふるさと小包など充実した景品がたくさんの方の手に渡り、とても満足していただけたかと思えます。

次回は平成25年3月16日(土)の総会後の懇親会です。今年度を振り返り、たくさんの施設の方々とお話が出来たら幸いです。



編集長のコーナー

編集長の久保です、表紙の写真は、三浦海岸の冬の風物詩「ダイコンの天日干し」です。浅漬けのたくあんを作る為に、取れたてのダイコンを海岸に立てた柵に5日~1週間ほど干しています。浜辺で干すと風通しがよくて水分が抜けるのが早く、海に近いので暖かく凍ることがないのだそうです。12月から3月位まで見られますが大量のダイコンが並ぶ様は圧巻です。また、のどかでもあり、とても三浦らしい風景です。

農協の資料によると、三浦半島でのダイコンの歴史は古く、寛永年間から栽培されていたことが相模風土記に記録されているそうです。練馬大根と三浦の地場大根との交配によって生まれ、大正14年に三浦産のダイコンが「三浦ダイコン」と正式に命名されて以来、「おでん煮物は三浦の大根」と言われるくらい長年にわたって名声を維持してきました。しかし、昭和54年に大型20号台風が三浦地域を襲い、三浦ダイコンが大きな被害を受けたのを契機に、「青首ダイコン」が三浦のダイコンの座を取って替るようになりました。甘みと小振りなサイズが消費者ニーズに合い、台風被害後のまき直しでも威力を発揮したことや、三浦ダイコンに比べ栽培が容易で多収、軽量で作業が省力化されるという生産者側にとっても好ましいことなどから、わずか2~3年で切り変わってしまいました。現在は99%が青首ダイコンになっています。本来の三浦ダイコンの特徴は、首の部分が細くて尻に向かって太くなる「中ぶくら」で、長さ約60cm、重さ約3kg、大きいものは5~8kgに肥大します。肉質はたいへん緻密で柔らかく、煮物やなます、ツマに向いています。出荷量は少ないですが、正月商品として、また三浦の直売所では販売をしています。私が子供のころはこの重いダイコンでした。洗剤・ダイコン・醤油(ビン)の買い物は必ずつき合わされて持たされた気がします。そうして男の子になっていった気がします。